



THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU  
名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

No.1191

<本年度会長方針>

大きな和を築こう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1399回例会

R理解推進月間

平成25年1月17日(木)  
年男男女女年頭所見

於 名古屋東急ホテル  
出席計算数 64名  
56名中45名出席  
出席率80・36%  
前々回出席率100・00%

例年プログラム

- ★米山記念奨学生挨拶
- ★受入青少年交換学生挨拶
- ★年男男女女年頭所見

「ロータリーソング」

指揮者 吉田 憲一  
ピアノ伴奏 富根 玲子

ゲスト

米山記念奨学生 周 玮  
受入青少年交換学生 キャサリン・ワームス

ニコソックス

これから皆さんにお世話になります。よろしくお願ひします。

年頭所見よろしくお願ひします。 杉本 忠夫

年頭所見のしみです。 鬼頭 茂成・岡村 隆徳

高木 政義・杉本 英夫  
スピーチします！よろしくお願ひ  
いたします。 川畑 博敬

本年もよろしくお願ひ致します。

寒い日が続きます。 田崎 雅三

会長挨拶

神野さん、川畑さんありがとうございます。おめでとございます。春日井和良お騒がせしました。昨年末は1日に2回も（日停止・シタール禁止）パトカーにごまれといわれました。今年は悪運を振り切っていきたいと思っています。 渡辺 観永

会長挨拶

みなさんこんにちは。今日は、年男男女女の年頭所見があります。当クラブでは4名の方がいらつしやいます。これからの抱負を聞かせて頂きます。大変楽しみにしていますのでよろしくお願ひします。今日はモーツアルトの話をし

す。モーツアルトは1756年1月27日に神聖ローマ帝国のザルツブルクで生まれました。亡くなったのは1791年12月5日です。全くの偶然ですが、このモーツアルトが生まれた1月27日というのはロータリーの創設者あめ、ポール・ハリスが亡くなった日と同じです。

モーツアルトは12歳で既にオペラを書いていました。そして、彼の天才を示す話の1つに、14歳のモーツアルトがローマに旅行に行つた時の話があります。ローマの教皇庁システリーナ礼拝堂で、礼拝の際に歌われている、グレゴリオ・アレグリの「ミゼレレ」という曲があります。門外不出の秘曲と言われて、楽譜など筆写は禁じられていました。これは、9声の

曲で大変美しい和音の響きの曲です。これを、モーツアルトが1度聞いたものを楽譜にしてみましたというものです。この楽譜がイギリスの歴史学者チャールズ・バーニーの手にわたって出版され、広く世界に知れ渡ったことごとです。この話には後談がありまして、ローマ教皇クレメンス14世がモーツアルトを召還して誉めた、と言われて

モーツアルトの音楽は、音の数が少なく、楽譜も当然すっきりしています。学生などは大変演奏しやすいので良く演奏されますが、この、音符の数が少ないというのが難しいところ。演奏は簡単に演奏できるのですが、上手に演奏するのは大変難しいのです。音の数が少ないので、音自体が感動出来る音じゃないとつまらなく聴けないということ。現在では、今年生誕200年を迎えるワーグナーや、一昨年没後100年だったマーラーなど、音の数も和音の数も複雑に多く重厚な音楽があります。非常に感動的で濃厚な音楽で、現在の社会を象徴しているようでありますが、そんな曲がある中で、モーツアルトの音楽はキラリと光っています。

その音楽は、純粹で牧歌的に響きます。あたかも、子供の頃に帰ったようなすがすがしさ、一服の清涼剤のような感覚です。どうぞ皆様も、時にはモーツアルトを聴いて、感覚や精神をリフレッシュさせ

れることをお勧めしてございさつと致します。ご清聴ありがとうございます。

年男男女女年頭所見

伊藤 与則さん

今年はずいぶん支度（おみ）の年に当たります。動物の蛇は嫌いですが暦の上での巳年生まれば好きです。巳年生まれの人はお金の苦労はないとよく言われました。又、へびは年令がわからな



い、脱皮を繰り返すことにより成長するので、年齢がわかりにくい動物です。

私は、昭和16年生まれの年男です。早いもので、還暦を過ぎ12年たちました。大須RCCに入会して16年目になります。外科や歯医者以外に病気がない病気をせず元気に過ごすことが出来るのも両親のおかげだと思ひます。私は会社に東京オリオンピクニックの年(昭和39年)に入社しました。父はその年の11月に亡くなりました。そもそも、私が会社に入ったのは、父親の影響が大きかったからです。私の会社は創業者の父から私で4代目になります。父は商売の方はほとんど、長男や次男に任せて私は主に証券会社に行ったり、家賃の集金をしたりして父の秘書みたいな仕事を約1年余りしておりました。今から思えば昭和35年大学に

入ったとき下宿探して、父が初めて一緒にいてくれてくれたのが影響しているかと思えます。その時に父はこう言いました。『兄弟はうまくいっている時はいいがケンカ別れる時が来る』のでお前はうちの会社に入って兄といっしょに協力してやってくれないかと言ったのを覚えております。

私が45歳の時兄の後を継ぎ、社長になってあつとつ間に26年が経ちました。今年こそそろ引退しようと思っております。これからは私の夢、豪華客船での世界一周やゴルフをしたり孫の顔を見に妻とともに京都、横浜へ出かけるつもりです。

今年の私のスローガンは『健康・チャレンジ・感謝』の3つの心です。まずは健康第一、次にチャレンジ精神、そして感謝の心で今年も良い年でありませう願っています。

### 年女年頭所見

近藤 明美さん

一歳に返り  
咲きました、  
縁起の良い巳  
年生まれの近  
藤明美です。



節目の年がくるたびに、40の手習い50の手習いと、何か趣味を始めようと文化センターのパンフレットやブックレットは「ミニ・健康管理でダイエットのためにジムには入会したものの続いたのは数カ月、できないことはやめます。や

はり仕事が一番なんでしょうね。我が社、瀬古写真館は今年12月名古屋開業60周年を迎えます。

両親が兄と乳飲み子の私を抱かえ大変苦労して築き上げた会社です。子供の頃、母に大きくなったら、お仕事手伝ってあげな。…が現実となり、今、代表権までいただきました。重圧感がありますが、仕事に関しては、年を重ねても、初心忘れず、常に向上心を持って、お客様の笑顔を頂くために精一杯の努力は惜しまないつもりです。

私に、第二の人生があるとしたら、予定を気にせず心地よい季節に旅行してゆったりと過ごしたいと思いますが、多分、性格上ダブルワークを過ごそうな気がします。忙しい合間に時間を見つけて楽しむ事の方が充実感がある気がします。

ロータリーでは、木村会長年度に、親睦活動委員長を仰せ付けられました。泣きたくなかったです。…女性の視点ならでは一の会を、皆さんに楽しんで頂ける様、精一杯頑張ります。ロータリーの諸先輩方、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

### 年男年頭所見

川畑 博敬さん

皆様明けましてお目出度うございます。今年もよろしくお願いたします。今日は、年男年頭所見



という事でここに立っていますが、年男の干支は節分を起点としていますので昭和28年1月7日生まれの私は実は辰年なのです。ですから、年男年頭所見を勝手に改めまして、還暦男年頭所見に変更してお話させていただきます。

今年1月7日で、人生60年間を通過しました。振り返ってみれば、嬉しかった事、楽しかった事、辛かった事、悲しかった事などの思い出にも増して、まずはよくもまああれだけたくさんの酒を今まで飲んできたものだと思っても感心しています。

そして、60年間の私の人生の中で一番大きかった事は、30歳の時妻紀子と結婚した事です。その後30年間苦楽を共にして貰い本当に感謝しています。

一番目に大きかった事は、41歳の時に名古屋大須RCに入会し、先輩達から私の仕事に対する考え方や人生の歩むべき指針について学び、私なりに確立できました。

また最近では、後輩の皆様の仕事に対する熱い情熱に強い刺激を受け改めて頑張らなくてはと思っています。名古屋大須RCの皆さん今まで本当にお世話になり有難うございました。これからもご指導の程よろしくお願いたします。さて、問題はこれからの人生を

どう生きるのかという事です。まずは、還暦を機に私の人生の整理整頓を一度ここでしなければと思っています。またやりたい仕事もあるし、もついい加減に手仕舞わなければならぬ仕事もある、口でいう程簡単ではない上に、この世界情勢の悪さも重なってなかなかの難問です。

もう一つ難問な事に挑戦しようと思っております。それは、ゴルフでアルバトロスを達成する事とシングルプレーヤーになる事です。こっちの方が難しいと思いますが、まずは保険のおりるアルバトロスを狙いたいと思っています。そのため、200ヤードから230ヤードの第2打の精度をあげられる道具に今凝っています。

皆様は、道具よりも腕の精度をあげる事が先じゃない？と思っておりますよね！2回もホールインワンを達成した私の考えは、アルバトロスは決して腕では無く、実は運だけなのです。

### 米山記念奨学生挨拶

受入青少年交換学生挨拶

(次号以降に掲載致します)

### 受入青少年交換学生帰国報告

新世代奉仕委員長

大原 敏正さん

8日のフェアウェルパーティーから2日後の10日午前11時半、セントレア大韓航空カウンターに

は鬼頭会長、岡村幹事、高木地区委員、岡田地区委員長、丹下氏、林順治氏と奥様、大原夫婦が集まり、慈奈の離日見送りをしました。



お土産一杯のスーツケースは2つ共にオーバークラスで手荷物に移動させ、それでも重量超過し超過料金を支払い、多くの思い出とともに帰国しました。緊張していた為最後までお礼の言葉が聞けず残念でした。滞在中には多くの会員の皆様にご支援、ご指導をいただきお礼申し上げます。

### 1月31日(木)例会の案内

卓話

「かわゆくは、つひつひつ」  
め五つ教えて良い子にはせよ

星橋名古屋中学校

校長 水野 高保さん

紹介者 鬼頭 茂成さん

広報委員会

近藤宏一郎・林 富徳

杉浦 令淑・青木 靖高

\*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。